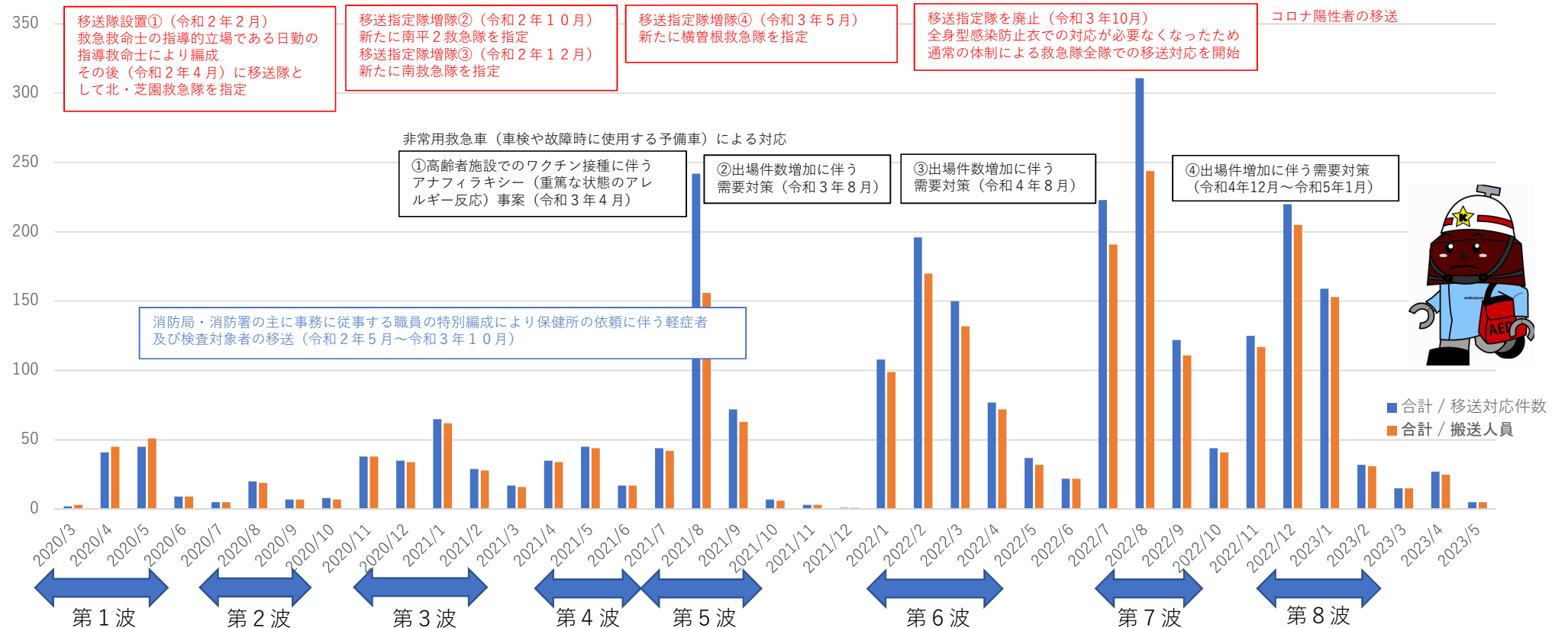


川口市消防局における新型コロナウイルス感染症対応

令和2年3月、保健所と連携し陽性者を市外の医療機関へ移送して以来、令和5年5月8日に5類感染症へ移行されるまで、保健所と連携を行いつつ、感染状況に応じた対応を継続しました。今後、新たな感染症が発生した際に今回の経験を生かすため、対応の振り返りと課題の抽出を行いました。

川口市消防局が対応した新型コロナウイルス感染症関連事案

合計 2,594件・2,285人 (R2.3.21~R5.5.7)



川口市消防局における新型コロナウイルス感染症の課題と今後について

項 目	今回の対応	課 題	今後の対応
<p>移送※体制の確保</p> <p>※保健所が実施する「移送」を患者搬送体制を確保する観点から保健所との連絡体制を構築し、傷病者搬送に「移送」として協力したものの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○車両内の区画やN95マスクの装着等さらに高い程度の感染対策を施した移送隊を設置した。 ○軽症者・検査対象者の移送に順次対応した。 ○移送隊として対応する職員への感染防止対策の教育を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各局面に対応可能な移送隊を設置するとともにその拡大に併せた隊数を調整すること。 ○軽症者・検査対象者の移送を調整すること。 ○対応職員への感染防止資器材の使用方法、廃棄方法の指導や教育を実施すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○早期の重症者の移送体制を確保するため各段階に即応した移送体制を確立する。 ○軽症者等は可能な限り保健所による対応となるよう保健所と事前に調整する。 ○平時から感染経路別の感染防止策を指導し、訓練を定期的実施する。
<p>感染防止資器材の確保及び廃棄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○備蓄資器材を使用し必要に応じて追加購入した。 ○必要数枯渇により消耗品等の資器材を消毒し、連続して使用した。 ○産業廃棄物業者とコロナに係る分別や廃棄について新たに調整した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な資器材の備蓄数を確保すること。 ○産業廃棄物業者と早期に廃棄処分の調整を図り救急隊へ確実な処分方法の周知を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的かつ継続的に資器材を備蓄する。 ○感染段階初期での迅速な購入手続きを行う。 ○産業廃棄物業者と段階に応じた廃棄物の処分について協議しておく。
<p>保健所及び医療機関との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保健所からの移送依頼及び救急業務に必要な連絡体制を整えた。 ○消防局が確認した陽性者の対応について各医療機関へ案内するとともに各医療機関の対応を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○24時間対応可能な連絡体制及び正確な情報伝達のための連絡票等の書式の確立を図ること。 ○各医療機関の窓口や担当者の把握及び運用の周知、情報収集を徹底すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平時から訓練を実施し、保健所との連携を強化する。新型コロナ対応で得た技能及び書式・形式等を継承する。 ○各医療機関の感染管理担当者（事務・看護師）との連携を平時から密にする。
<p>救急需要対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ひっ迫時においては予備車を活用した非常用救急車を運用し対応した。 ○軽症の陽性者からの救急要請に対応した。 ○119番に入電する新型コロナウイルス関連の相談に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○予備車による非常用救急車運用に係る人員の確保を図ること。 ○119番通報時の緊急度・重症度の把握及び市民へ救急車の適正利用について広報すること。 ○感染症相談窓口の案内や広報の強化を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染段階初期から迅速に運用できる計画を策定した。 ○平時から指令管制員の教育及び保健所との連携強化により、軽症者及び相談関連窓口の広報を充実させる。